

科目	情報処理 (Information Processing)		
担当教員	赤松 浩, 加藤 真嗣		
対象学年等	電気工学科・1年・後期・必修・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	-	JABEE基準1(1) -
授業の概要と方針	情報系だけでなく工学系の分野でも、プログラミングする機会は増えている。そこで、最もポピュラーなC言語を用いて簡単なプログラムを作成あるいは解読することにより、C言語プログラミング技術を身に付ける。講義では、標準入出力関数、変数と計算、if文、およびswitch文の順にプログラミング技法を実習を交えて解説する。また、試験前の講義では、プログラミング試験を実施する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	C言語を使うために必要な知識が理解できる。		プログラムを作成して、実行させるまでに必要な知識が理解できているか、プログラミング試験および中間試験で評価する。
2	四則演算を使ったプログラムが作成できる。		四則演算の優先度を考慮したプログラムが作成できるか、プログラミング試験および中間試験で評価する。
3	演算結果を様々な型の中から目的に適した表示ができる。		演算結果を目的にあった型で表示するプログラムが作成できるか、プログラミング試験および中間試験で評価する。
4	様々な変数の宣言の中から計算結果の精度を考慮した変数を使う。		精度を考慮した変数を用いたプログラムが作成できるか、プログラミング試験および中間試験で評価する。
5	if文を使った条件分岐のプログラムを作成できる。		if文を用いたプログラムが作成できるか、プログラミング試験および定期試験で評価する。
6	switch文を使った条件分岐のプログラムを作成できる。		switch文を用いたプログラムが作成できるか、プログラミング試験および定期試験で評価する。
7			
8			
9			
10			
総合評価	到達目標1-6の各試験の平均点を60%で評価、到達目標1-6のプログラミング試験の平均点を40%で評価する。ただし、出席状況の悪いものは不合格とする。		
テキスト	「C言語プログラミングレッスン」：結城浩(ソフトバンク)		
参考書	「独習C」：シルト・ハーバード著、柏原正三監修(翔泳社)		
関連科目			
履修上の注意事項	情報処理(2年通年)：本科目が基礎となり、さらに複雑な制御文あるいはポインタなどを学ぶ。情報基礎(1年通年)：C言語以外の情報技術(html, tex等)を学ぶ基本的に情報教育センターで講義を行う。教科書、ノート、プリント等は、毎回必ず持ってくること。		

